

高等学校 令和6年度（3学年用）教科： 国語 科目 文系古典

教科： 国語 科目： 文系古典 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：金子(節)・酒井・竹田

使用教科書：（ 第一学習社 古典探究 ）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文系古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・伝教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する。 ・日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ・古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 発心集・枕草子・不慮後患 ・一人1台端末の活用 等 				<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見直しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。 ・積極的に逸話を読み、臣下の立場にある少孺子の心情と、少孺子が呉王を説得するためにとった方法を説明しようとしている。 	○	○	○	21
	定期考査					○	○		1	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、公任が考える、世評とは異なる和歌の評価基準を理解する。 ・歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、公任が考える、世評とは異なる和歌の評価基準を理解する。 ・教材 源氏物語・俊成髓脳 ・一人1台端末の活用 等 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見直しをもって歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとしている。 ・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 	○	○	○	25
	定期考査				○	○			1	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた稽古のしかたを説いた能楽論から、人の生き方に通じる普遍的な教訓を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・能楽について述べた評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・一人1台端末の活用 等 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、本文から得られる人の生き方一般に通じる教訓について考え、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしている。 	○	○	○	25
	定期考査					○	○		1	
	<ul style="list-style-type: none"> ・作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・さまざまな物語の中から、特異な設定の作品を読んで、古典への興味を広げる。 ・一人1台端末の活用 等 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。 	○	○	○	30
	定期考査					○	○		1	
	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って作者の主張と論理を本文の叙述に即して理解し、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 	○	○	○	28
定期考査						○	○		1	

3
学
期

・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める。	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。		○					7
定期考査				○	○			1

合計
140